



農の風景ウェブ版



冬は準備の時間 Part2

暖

冬とはいえ、畑の中は、寒風が吹きすさむ。陽が照

っているのだから何とか耐えられる。

ブドウの栽培にかかる作業は、年間通してある。

地球温暖化の影響だろうか。気温や雨量が毎年大きく異なり、生産者にとっては安心できる時がない。令和5年の夏は高温と多雨で、ブドウの病気である「黒とう病」が流行った。古いつるを残しておく、ウイルスが越冬して再び出てくるので、12月から剪定を始めて取り除いた。

ひととおり終わると、トラクターを入れて耕す。これで根が張りやすくなるそうだ。

ブドウの棚は、低くて狭いので、気を使う作業。場所によっては、頭が^{かが}つきそう。屈みながら進んでいく。端まで行くと、棚を支える柱の中で、器用に回転して方向を変える。どこにもぶつけない。続けられるのは、長年やっているから。感覚が身体にしみ付いている。



(注)取材させていただいたほ場では、一般の方の見学などは行っていない。

撮影場所：緑区鎌倉台
撮影取材日：2024年2月8日